

□開催概要

名 称	グローバルフェスタ JAPAN 2010
テ ー マ	MDGs、それは “私たちの約束”
開催日時	2010年10月2日(土)・3日(日)10:00~17:00
開催場所	日比谷公園
入 場 料	無料
趣旨・内容	<p>「10月6日は国際協力の日」を記念して開催される国内最大級の国際協力のイベントで、1990年より開催されており、今年で20周年を迎えます。楽しくわかりやすい参加型イベントを通して、国際協力を身近に感じてもらうとともに、開発途上国の現状とODAを含む国際協力の必要性や国際協力にあたっての政府、国際機関、NGOの活動を広く理解していただきます。</p> <p>今年のテーマは「MDGs、それは“私たちの約束”」。「2015年までに世界の貧困を半減する」ことを目標とする「ミレニアム開発目標(MDGs)」の達成に向け、グローバルフェスタを通して、みんなで一体となって「約束」への第一歩を踏み出します。</p>
主 催	グローバルフェスタ JAPAN2010 実行委員会
共 催	外務省 独立行政法人国際協力機構(JICA) 特定非営利活動法人 国際協力 NGO センター(JANIC)
後援 (予定含む)	総務省 ・ 財務省 ・ 文部科学省 ・ 厚生労働省 ・ 農林水産省 ・ 経済産業省 ・ 国土交通省 ・ 環境省 ・ 東京都 ・ (社)日本新聞協会 ・ NHK ・ (社)日本民間放送連盟 ・ (社)青年海外協力協会 ・ (社)日本経済団体連合会 ・ 千代田区
参加団体	援助関連政府機関・公益法人、国際機関、大使館、青年海外協力隊関連団体、NGO団体 関連 約 287 団体
事 務 局	グローバルフェスタ JAPAN 2010 実行委員会事務局 [(株)JTB コミュニケーションズ内] TEL 03-5434-8319 FAX 03-5434-8694 E-mail gffesta10@jtbcom.co.jp
結 果	<p>来場者数 10万6千人 (10/5 発表)</p> <p>文部科学省テント来場者数： 2日(土) 214人 (前年：206人) 3日(日) 317人 (前年：327人)</p> <hr/> <p>計 531人 (前年：533人)</p>

□出展計画

名 称	文部科学省（「国際協カイニシアティブ」）
日 時	平成 22 年 10 月 2 日（土）・3 日（日）／10 時～17 時
出 展 場 所	ブルー・エリア（共催団体、国際機関・その他） B-18
目 的	一般の方々への事業の広報 (1) 国際協カイニシアティブの取組 (2) 青年海外協力隊「現職教員特別参加制度」
内 容	(1) 平成 22 年度教育協力拠点形成事業採択機関の活動紹介、 国際協力活動の現場で活用するマニュアルや教材などの展示 (2) 現職の教員を青年海外協力隊員として開発途上国に派遣する活動を 紹介する写真やパネルを展示、帰国隊員による説明
参 加 ス タ ッ フ	現職教育特別参加制度の説明者 2 日（土）／西川 かおり 教諭（東京都立総合工科高等学校） 平成 20 年度一次隊 派遣先：ベナン（村落開発普及員） 3 日（日）／永田 友紀 教諭（神奈川県立湘南養護学校） 平成 20 年度一次隊 派遣先：ネパール（養護）

会場風景



今年で20回目を迎えたグローバルフェスタ。2010年は『MDGs、それは“私たちの約束”』をテーマに開幕。10/2,3共に夏日を思わせるような陽光差す好天に恵まれ、来場者の出足も好調。およそ10万6千人の人々が訪れ、大盛況を呈した。



テント内レイアウト

テント内には各大学・JICA等の活動内容を
紹介する写真、ポスター、報告書等を展示。
今回は採択機関のチラシの配布を試みた。
興味ある活動のチラシを持ち帰る方も多く
見られた。





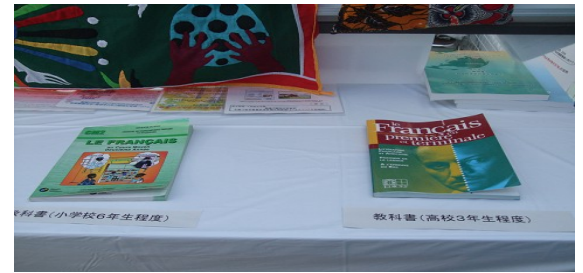
解説風景

多くの方々ที่ TENT を訪れ、多様な質問をされる中、職員の対応にも熱が入る。特に教職課程専攻の学生、青年海外協力隊に興味を持つ若者が多く、対応が間に合わないほどの活況を呈した。



お忙しい中、展示資料の制作等々にご協力いただいた課題実施者の皆様方に感謝申し上げます。また、テントを訪れてくださった皆様、ありがとうございました。ここで得られました情報をお役立ていただければ幸いです。

10/2 青年海外協力隊帰国現職職員 平成 20 年度一次隊（派遣先：ベナン 村落開発普及員）西川先生
アフリカならではのキュートな色使いのタペストリーや袋物、楽しそうな楽器にも惹かれる来場者。
先生の体験談に熱心に耳を傾け質問をする学生も多く、現職教員特別参加制度への関心が高いことが感じられた。



10/3 青年海外協力隊帰国現職職員 平成20年度一次隊（派遣先：ネパール 養護）永田先生
多くの展示物をお持ちいただいた。中には30分以上、質疑をしていく学生達もいるほど。
やはり、制度への関心の高さが表れていた。

